

## 富川湖植物園「スピア」開園

### PM2.5、四季の代わりに関係なく、森に旅立つ楽しいピクニック

富川市は3月25日、PM2.5、四季の変わりにも常に休憩空間や見どころを提供する富川湖植物園「スピア」の開園式を開催した。

植物園内には、観葉園、水生園、バオバブ園、食虫植物園など、8つの植物ゾーンに430種28,000本の植物が植栽されており、様々な熱帯樹木を観覧できる。

富川湖植物園「スピア」は、3月26日から5月31日までは臨時開園で、事前予約を通じて無料で運営する予定であり、6月2日からは正式開園で有料となる。

富川市は、延べ面積2,969.31㎡、事業費72.6億ウォンを投入し、2019年2月から基本計画を策定し、2021年12月に竣工した。植物園内には、企画プログラム及び特別展示のためのテーマ温室やヒュ休憩所（カフェ）、2階にはスカイワークが位置している。

富川湖植物園のスピアは、市民の誰でも、いつでも訪れて休んでもらえる清浄休憩空間を目指し、植物資源の持続可能な価値を生み出していく予定である。

開園式に参加した張徳天（チャン・ドクチョン）富川市長は、「PM2.5など、有害環境にも疲れている市民が希少な熱帯植物の観覧やカフェでのお茶一杯の余裕を通じて心身の疲れを取り、癒される空間になってほしい」として、「植物園と人と自然が調和する都心の中のグリーンスポットになれるよう、ご支援とご愛顧を賜りますようお願い申し上げます」と述べた。

